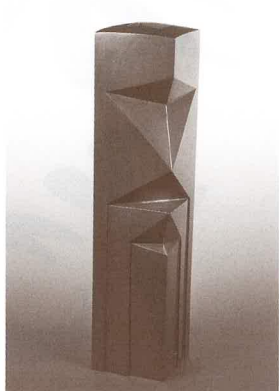


高岡の作家たち ~ふるさとでつくること~

近年逝去した高岡市ゆかりの現代美術を牽引した先駆者たちの業績を顕彰します。

地元在住の抽象画家の先駆者としてカラフルな版画制作を展開、富山県美術界を牽引した鶴谷登(1940-2007)。油彩の分厚く饒舌な絵肌に独自の境地を示し、国内外で発表を続けた古川通泰(1940-2009)。鑄金技法による抽象造形を追及、県内在住作家として初の日本芸術院賞を受賞した大角勲(1940-2010)。また、可西泰三(金工/1921-2007)、二代畠春斎(釜師/1944-2007)ら惜しくも近年逝去した高岡市出身の作家たちの業績を回顧し、地方で制作することの意味、ローカルティ(地方性)とクリエイティヴィティ(創造性)の関係を考えます。



可西 泰三 《鑄銀花器「いのり」》
1974年 高岡市美術館蔵(新収蔵品)



大角 勲 《ねばり》
1973年 高岡市美術館蔵



古川 通泰 《視る》
1987年 富山県(県立高岡工芸高等学校)蔵



鶴谷 登 《作品 89-1》
1989年 富山県(県立高岡工芸高等学校)蔵



二代 畠 春斎 《筋文八方釜》
2003年 高岡市美術館蔵

〔関連行事〕

(1)講演会①

演題:「高岡のかたち -工芸の過去と現在」
日時:10月2日(日) 午後1時30分~3時
講師:大熊 敏之氏(富山大学芸術文化学准教授)
場所:高岡市美術館地階ハイビジョンホール
申込不要(先着80名)、聴講無料

(2)講演会②

演題:「高岡の作家たち -思い出を語る」
日時:10月15日(土) 午後1時30分~3時
講師:遠藤 幸一(高岡市美術館長)
場所:高岡市美術館地階ハイビジョンホール
申込不要(先着80名)、聴講無料

(3)美術教養講座「守る・伝える」連携講演会

演題:「高岡の作家たち展について」
日時:10月22日(土) 午後1時30分~3時
講師:仁ヶ竹 亮介(高岡市美術館主任学芸員)
場所:高岡市美術館地階ハイビジョンホール
電話申込必要(電話0766-20-1177/先着40名)、聴講無料

(4)学芸員のギャラリートーク

日時:10月8日(土)、10月16日(日)、10月23日(日) いずれも午後1時30分~
場所:高岡市美術館 企画展示室1
申込不要、観覧券が必要



次回開催

第41回高岡市芸術祭
高岡市美術作家連盟展
11月5日(土)~11月13日(日)

〔交通のご案内〕

- JR北陸本線高岡駅から
- 徒歩約20分(高岡駅から北東約2km)
 - バス 富山行/石瀬行「中川」バス停下車 徒歩2分、高岡市民病院行「工芸高校前」バス停下車 徒歩1分
 - JR氷見線「越中中川駅」下車 徒歩2分
- 能越自動車道 高岡北ICから約10分、高岡ICから約15分
北陸自動車道 小杉ICから約20分、砺波ICから約30分
※高岡市美術館地下駐車場は2時間まで駐車料金無料、高岡文化の森駐車場(屋外)は無料です。

財団法人 高岡市民文化振興事業団
高岡市美術館
TAKAOKA ART MUSEUM
〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号
TEL 0766-20-1177 FAX 0766-20-1178
URL <http://www.e-tam.info/>